

栃木県庁
監督：阿久津定之

1. 大会概要

- ・日程 平成17年8月26日(金)～28日(日)
- ・会場 羽鳥湖高原レジーナの森テニスコート
ブリティッシュヒルズテニスコート
- ・主催 (財)日本テニス協会
- ・主管 東北テニス協会
- ・企画 (財)日本テニス協会実業団委員会
- ・後援 朝日新聞社
- ・協賛 羽鳥湖高原レジーナの森株式会社
- ・協力 プリヂストンスポーツ株式会社、株式会社ミネムラ、
有限会社エムジェーピー、エビアン
株式会社ブリティッシュヒルズ

2. 試合方法

- ・ダブルス各地域代表男子32チームを8ブロック4チームに分け予選リーグ(今回は初日雨天のため、予選トーナメントに変更)を行い、各ブロック1位チームによる決勝トーナメント戦、また、各ブロック2位以下のチームによるコンソレーションを行う。
- ・ダブルス2ポイント、シングルス1ポイント
- ・1セットマッチ(6-6 7ポイントタイブレーク)ノーアドバンテージスコアリング方式

3. 出場選手

1. 阿久津定之
2. 鈴木秀男
3. 法師人行雄
4. 小林裕幸
5. 金子隆行
6. 藤賀 淳

4. 試合結果

予選トーナメント1回戦 対 三菱電機・伊丹(関西2位)：8月26日(金)

	栃木県庁	1 -	三菱電機・伊丹
D 1	鈴木秀男 小林裕幸	6 - 2	堀江聡介 三宅展明
S	阿久津定之	1 - 6	堀江俊行
D 2	法師人行雄 金子隆行	3 - 6	安田和男 野崎泰隆

予選トーナメント3位決定戦 対 旭化成(九州1位) : 8月27日(金)

	栃木県庁	0 -	旭化成
D 1	鈴木秀男 小林裕幸	3 - 6	清水建樹 宮田博文
S	阿久津定之	1 - 6	河野幸一
D 2	金子隆行 法師人行雄	3 - 6	永田和人 川並 隆

コンソレーションCトーナメント1回戦 対 川崎重工(東海4位) : 8月27日(土)

	栃木県庁	1 -	川崎重工
D 1	鈴木秀男 小林裕幸	2 - 6	丹羽啓介 山田健二
S	阿久津定之	7 - 5	後藤寛典
D 2	法師人行雄 藤賀 淳	4 - 6	加藤正成 宮本政一

コンソレーション 対 九州電力(九州2位) : 8月27日(土)

	栃木県庁	- 0	九州電力
D 1	鈴木秀男 小林裕幸	7 - 5	立花公康 高浜研自
S	阿久津定之	6 - 1	松尾光彦
D 2	法師人行雄 藤賀 淳	6 - 0	岡田秀人 大坪裕法

5. 所感

予選トーナメント1回戦 対 三菱電機・伊丹(関西2位)

予選がリーグ戦からトーナメント方式に変更になったため、どうしても負けられない初戦だった。対戦相手の三菱電機・伊丹は全国4年連続出場の常連のチームであり、メンバーは比較的ベテラン選手が多いチームで対戦しやすいチームだった。ダブルス1で勢いに乗るため、すっかり安定感のました鈴木・小林選手を出した。その期待に応え、いきなり相手のサーブをブレイクし6 - 2と勝ち、続く阿久津選手のシングルで一気に勝負を決めたかったが、ショットに安定感がなく最後まで波に乗れず、1 - 6と敗れてしまった。これで、1対1の五分となり、ダブルス2の金子・法師人選手に勝負がかかった。サーブをお互いキープし、3 - 4で金子選手のサーブを40 - 15からブレイクされ、3 - 5となり最後は相手にキープされ、大事な初戦を落としてしまった。

予選トーナメント3位決定戦 対 旭化成(九州1位)

旭化成も常連のチームで、我々が初出場の時、対戦した相手である。ダブルス1は初戦と同じ鈴木選手と小林選手が組んだが、初戦でチームが負けてしまったせいで、モチベーションも下がったのか、初戦の勢いがなく、チャンスボールのミスが目立ち3 - 6と敗れてしまった。続くシングルス阿久津選手の相手は元全日本予選に出場した選手でボールのスピード、コントロールが良く一方的な試合展開で1 - 6と敗れこの時点で予選4位となってしまった。ダブルス2も競りはしたものの、先にブレイクされると結局3 - 6敗れ、0対3で予選2敗でコンソレに進む事になってしまった。

コンソレーションC1回戦 対 川崎重工(東海4位)

これで、次の目標はコンソレ優勝しかなくなり、気持ちを新たに2日目に望んだ。しかし、ダブルス1の鈴木・小林選手はショットに切れがなく、2 - 6と敗れたが、続く、阿久津選手のシングルスは7 - 5と競り勝ち、勝敗は法師人・藤賀選手のダブルスにかかった。互角の戦いだったが、最後は1ブレイクの差で4 - 6と落とし、コンソレも敗退してしまった。

コンソレーション 対 九州電力(九州2位)

九州電力とは2年前の初戦で対戦したチームで、私が捻挫したときの相手でもあり、1 - 2と敗れていただけに今回は借りを返す絶好の機会となった。

鈴木・小林選手のダブルス1は、先にブレイクし、5 - 4で小林選手のサーブで決着を付けたかったが5 - 5とブレイクされてしまった。しかし、また、相手のサーブをブレイクすると最後は鈴木選手がサーブをキープし7 - 5で勝った。続くシングルの阿久津選手の相手はミスが目立ち6 - 1で勝ち先に2勝し、今回最後にやっと勝利することができた。法師人・藤賀選手のダブルス2も6 - 0で完勝し有終の美を飾ることができた。

6. まとめ

今年は、台風の影響で大会初日の試合開始が遅れ、予選リーグを行わず予選トーナメント方式に変更して行われたため、初日の試合が2試合となってしまい残念でしたが、大会が無事終了できて良かったと思います。

今回で、3年連続4回目の出場となり我がチームも全国大会で常連になりつつありますが、今年は予選4位と不本意な成績に終わってしまいました。やはり、1セットマッチではサーブをキープし、リズムをつくる事がとても大切で、ビジネスパルはダブルスのポイントが2ポイントであるため、ダブルスを強化し来年こそは決勝トーナメントに出られるよう選手一同努力したいと思います。

また、今回は軽井沢で行われる予定だったそうですが、コートの関係上レジーナで行われたそうです。とても環境の良いところで、また、栃木からは非常に近くて便利なところでした。今回はテストケースで使ったそうですが、また、ここで実施してもよいと思いました。最後になりますが、今年も全国に出場出来たのも、実業団委員会の方々のおかげだと心から感謝をしております。来年こそ上位入賞目指し、頑張りたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

以上